



6年生 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に実施しました6年生の全国学力・学習状況調査の結果について、概要をお知らせします。

この調査は、児童の学力や学習の状況、課題を把握し、今後の学習指導の改善や充実に取り組むため、毎年全国の6年生を対象に実施されているものです。今回の結果を学校全体としてとらえ、学習面で力が十分に定着していない領域については、今後の授業改善による学力向上に努めるとともに、課題と考えられる生活習慣などについては、保護者の皆様にもご協力いただきながら、改善に努めていきたいと考えています。

個々の結果については、6年生担任から返却いたしました。数値のみにこだわるのではなく、各自の強みや弱みの傾向を知り、今後に向けての参考にしていただきたいと思います。

◎三重県の結果

三重県は、国語・算数ともに、全国平均をやや下回っていました。

国語では、文の中における主語述語との関係を捉えることに改善が見られましたが、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られました。

算数では、立方体の体積や速さの問題に課題が見られました。

児童質問調査では、授業時間以外の学習時間が少ない状況でした。一方、「人が困っているときは、進んで助けている」等の肯定的な回答が9割を超え、他者や集団のために役に立ちたいと思う気持ちが高い状況にあります。

◎上野南小学校の傾向と今後の取組

【国語】

国語は、平均正答率が全国と比べて下回っていました。

学習指導要領の内容別に見ると、知識及び技能で

「情報の使い方に関する事項」の正答率が全国と比べて下回っていました。また、思考力・判断力・表現力等で「書くこと」の正答率が全国と比べて上回っていました。



1年生 なかよし集会

○よくできていた問題

「たてわり遊び」に関する高山さんの文章の空欄に、取材メモをもとにして、次の条件に合わせた文章を書く。

条件① 「たてわり班遊び」のよさについて考えたことを書くこと。

条件② 下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。

○まちがいが多かった問題

物語を読んで、心に残ったところとその理由を、次の条件に合わせて、まとめて書く。

条件① 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。

条件② 物語から言葉や文を取り上げて書くこと。



○今後の取組

物語を読んで、心に残ったところはあるものの、心に残った理由を言語化できなかった児童がいたと考えられるので、言語活動を通じて自分の考えを形成する学習過程を重視し、取り組んでいきます。

【算数】

算数は、平均正答率が全国と比べてやや下回っていました。

学習指導要領の内容別に見ると、昨年度全国平均を下回っていた「図形」が、今年度は全国平均を上回りました。反対に、昨年度全国平均を上回っていた「データの活用」が、今年度全国平均より下回りました。



2年生 学習の様子

○よくできていた問題

作成途中の直方体の見取り図について理解し、辺として正しいものを選ぶ問題は、全児童が正解していました。

円柱の展開図について側面の長方形の横の長さを選ぶ問題も、多くの児童が正解していました。

○まちがいが多かった問題

折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く問題は、正答率が低い状態でした。
(裏面へ続く)

○今後の取組

児童が必要なデータを読み取れているかを確認するために、データを読み取って捉えたことを伝え合う活動などを、今まで以上に行っていきます。

また、算数科で①児童が主体的に学ぶ ②論理的思考力を身につける ③基礎基本の学力を身につけることをめざして、今後も取組を進めていきます。

【 児童質問調査 】

○強み

「自分にはよいところはありますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の設問で、当てはまると答えた割合が、全国より高い傾向にあります。

学習面では、「算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」「授業で学んだことを、実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」の設問で、当てはまると答えた割合が、全国より高い傾向にあります。

○弱み

「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間（土日以外）、勉強をしますか」の設問で、「30分以下」と答えた割合が、全国よりやや高い傾向にあります。

また、「1日あたりどれ位の時間（土日以外）、テレビゲーム等をしますか」の設問で、「2時間以上」と答えた割合が、全国よりやや高い傾向にあります。

○今後の取組

三重県と同様に、本校でも「家庭での学習時間が少ない」「テレビゲーム、スマートフォン等を使用する時間が多い」という経年的な課題があります。インターネットを利用する機会も増えていることから、インターネットを活用して学ぶ機会を増やしたり、読書習慣を身につけたりするよう取組を進めていきます。

児童が、主体的・計画的に学習できるよう、学校・家庭・地域が一体となって、学習習慣の確立に向けて取り組んでいきたいと思っております。



5年生 図工作品「シーサー」